

# ふれあい 曾山医院

志筑1391-9  
Tel:62-5566

2026年7月号  
(第163号)

発行人  
曾山 信彦



編集委員会



曾山医院  
ホームページ  
soyama-clinic.com



## 腎性貧血について

腎性貧血とは、腎臓の働きが低下することで起こる貧血のことです。貧血というと「血が足りない状態」と思われがちですが、正確には血液中の赤血球やヘモグロビンが少なくなり、全身に十分な酸素を運べなくなる状態を指します。

### 腎性貧血が起こる原因

私たちの体では、腎臓が「エリスロポエチン」というホルモンを作っています。

このホルモンは、骨髄に働きかけて赤血球を作るよう指示を出す重要な役割を担っています。しかし、慢性腎臓病が進行すると、腎臓でエリス

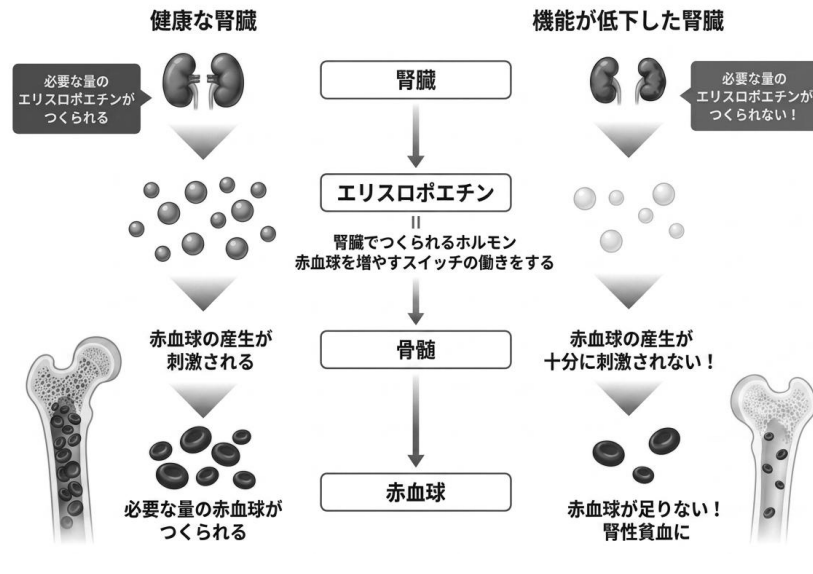


ロポエチンが十分に作られなくなり、赤血球が作られにくくなります。これが腎性貧血の主な原因です。

### 主な症状と放置リスク

腎性貧血になると、疲れやすい、息切れがする、動悸がする、顔色が悪い、集中力が落ちるといった症状が現れることがあります。ただし、症状が軽いうちは自覚しにくく、「年のせい」「体力が落ちたせい」と思われることも少なくありません。治療せずに放置すると、心臓に負担がかかり、心不

## 腎臓が健康な場合と機能が低下した場合の対比



全などの合併症につながる可能性もあるため、早めの対応が大切です。

### 腎性貧血の治療について

腎性貧血の治療の基本は、不足しているエリスロポエチンの働きを補う

ことです。そのために使用されるのが、赤血球を作るのを助ける注射薬です。これにより、骨髄での赤血球産生が促され、貧血の改善が期待できます。

### 鉄分補給の重要性

また、赤血球を作るためには鉄分も必要です。体内の鉄が不足している場合には、飲み薬や点滴で鉄を補う治療を行います。鉄が不足したままでは、注射薬の効果が十分に発揮されないことがあります。

### 治療目標と生活の質

治療の目標は、単に数値を正常にすることではなく、息切れやだるさなどの症状を改善し、日常生活を楽に過ごせるようにすることです。貧血を改善することで、体を動かすことができ、生活の質(QOL)の向上も期待できます。

### 定期検査と治療継続

腎性貧血の治療は、定期的な血液検査を行いながら、患者さん一人ひと

りの状態に合わせて調整していきます。

貧血の数値が急に変動しないよう、医師の指示に従って治療を継続することが大切です。

### 最後に

腎性貧血は、腎臓の病気に伴って起こる治療可能な貧血です。適切な治療を続けることで、症状を和らげ、体への負担を減らすことができます。

「最近疲れやすい」「息切れしやすくなった」と感じたときは、遠慮せず医師や医療スタッフに相談してください。一緒に、無理のない治療を進めていきます。

よう。

